令和８年５月２２日

保護者　様

精華町立精華中学校
校　長　有城　義浩

気象警報発表時及び地震発生時の登下校について

新緑の候　保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
平素は、本校教育活動の推進に、格別のご理解ご協力をいただき厚くお礼申し上げます。
さて、気象警報の発表内容の変更に伴い、下記のとおりお知らせいたします。

記

１　警報発表時

(1) **午前７時現在**、気象台から精華町にレベル５特別警報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）、又はレベル４危険警報・レベル３警報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）、その他警報（暴風、波浪、大雪、暴風雪）が発表されている場合は、自宅待機とする。

(2) **午前９時までに解除された場合**は、**登校**とする。

(3) **午前９時までに解除されない場合**は、**臨時休校**とする。

(4) 登校後にレベル５特別警報、レベル４危険警報、レベル３警報又はその他警報が発表された場合は、気象状況及び安全確保の状況を確認し、学校で待機とするか一斉下校とするかを判断する。

２　「震度５弱」以上の地震が発生した場合の対応

(1) 精華町において、「震度５弱」以上（速報値）の地震が発生した場合は、以下の対応とする。

地震発生時刻	対応
前日の下校時（前日が休日の場合は、前日の午後５時）から、24 時までに精華町で「震度５弱以上」の地震が発生	翌日を一斉臨時休校とする
0 時から登校開始までに精華町で「震度５弱以上」の地震が発生	当日を一斉臨時休校とする

(2) その後の対応については、さくら連絡網で連絡する。
震度修正値が震度４以下となった場合は、校内外の安全を確認し、登校に切り替える場合がある。

(3) 登校中に震度５弱以上の地震が発生し学校に登校した場合、在校中に震度５弱以上の地震が発生した場合、及び下校中に震度５弱以上の地震が発生し学校に戻ってきた場合は次のとおりとする。

① 在校している生徒を確認の後、保護者に引き取りに来ていただく。
② 保護者が引き取りに来るまで、生徒を学校の所定の避難場所に待機させる。連絡手段が寸断され保護者と連絡が取れない場合は、迎えに来られるまで学校で待機させる。

３　その他

臨時休校となった場合、次の日の授業予定等については、さくら連絡網で連絡する。

【防災気象情報を活用する組織向けのご案内】
～施設・学校・企業・自治体等の防災担当者の方へ～

令和8年より気象の警報などが大きく変わります

防災気象情報
いつ逃げる？
レベルで判断！
避難の判断がよりしやすく

情報名称などが大きく変わるため、
防災計画等の点検や見直しをお願いします。

【一覧表】

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

POINT!! 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】
（旧）「大雨警報」
→（新）「レベル３大雨警報」
警戒レベル３（高齢者等避難）に相当

POINT!! 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】
（旧）「土砂災害警戒情報」
→（新）「レベル4土砂災害危険警報」

POINT!! 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります（特別警報の新設など）

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。
今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】
（旧）「洪水警報」
→【洪水予報河川※】（新）「レベル３氾濫警報」
→【洪水予報河川以外の河川】（新）「レベル３大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル５氾濫特別警報」が新設されます。
※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川

CHECK!! 線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】
（旧）「顕著な大雨に関する気象情報」
→（新）「気象防災速報（線状降水帯発生）」
（旧）「記録的短時間大雨情報」
→（新）「気象防災速報（記録的短時間大雨）」

気象庁
〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9
電話：03-6758-3900
FAX：03-3434-9086（耳の不自由な方向け）

詳しくはこちら

避難のタイミングは レベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか、
レベルごとにチェック！

時間推移のイメージ

数日～1日前	レベル1早期注意情報	・災害への心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認する
半日～数時間前	レベル２注意報	・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
数時間～3時間前	**レベル３警報**	・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する** ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難
2時間～0時間前	**レベル４危険警報**	・**危険な場所から全員避難する** ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
災害発生	**レベル５特別警報**	・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況 ・**今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する**

災害の情報、どう受け取る？

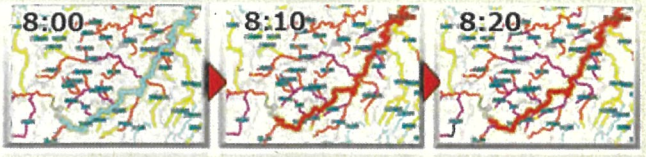
警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。

このあとどうなる？をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報（明日までの警報等の見通し）などを、気象庁ホームページで確認してください。

キキクル　検索

▼キキクル画面イメージ　10分ごとに更新される



▼時系列情報（明日までの警報等の見通し）

気象庁
〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9
電話：03-6758-3900
FAX：03-3434-9086（耳の不自由な方向け）